

先日、夏季休暇の最終日、面白い飲み会がありました。

神戸から久しぶりで遊びに来た飲み仲間と、ワイワイやっている時は余り意識していなかったのですが、後で写真を整理していたら、とても興味深いものがありました。



これは、私のお気に入りの飲み屋 「やきとり君」で、偶然撮影されたものですが、なんと写真に登場する5人の国籍がすべて違うのです。

共通言語は英語です。

時々、英語を流暢に話せる事を鼻にかけて自慢する人がいますが、これは大きな勘違いだと常々感じています。英語圏の国に行けば、子供でも、どんなにインテリジェンスの低い人でも英語を話しています。問題はその話の中身、コンテンツだと思います。英語なんてものは単なるツールであり、使いこなせると、とても便利ですが、自慢するようなたぐいのものではないと常々思っています。

国籍を紹介すると、写真に向かって左から、米、日、豪、仏、英 でした。